

# い～な E-naだより

国土交通省関東地方整備局  
江戸川河川事務所発行  
電話04(7125)7311  
2015年1月23日【創刊号】

## E-naだより復活創刊にあたって

明けましておめでとうございます。

このたび、江戸川河川事務所の広報誌である「E-naだより」を復活創刊することとなりました。

この「E-naだより」は、事務所管内の川に関するニュースピックやお知らせ、工事発注予定などの情報発信ソースとして、その役割を担っていきます。

「E-naだより」により、地域の皆さんすべてに向けて、できるだけ多くの情報を発信したいと考えています。

創刊にあたっては、皆さんのご意見もお聞きし、内容の充実に努めて参りますので今後ともよろしく願います。

『E-na(い～な)』とは：江戸川河川事務所で管理している江戸川(Edogawa)・中川(Nakagawa)・綾瀬川(Ayasegawa)のそれぞれの河川の頭文字をとった愛称です。

『E-naだより』の発行を通じて、多くの情報を地域の皆さんに発信していきます。

## 江戸川河川事務所について

江戸川河川事務所では、江戸川、中川、綾瀬川、利根運河、坂川、三郷放水路、綾瀬川放水路、首都圏外郭放水路などの総延長111.8kmの河川を管理しています。首都圏を流れるこれらの川は、大雨による洪水時には治水上重要な役割を發揮していますが、普段はそれに加え、水道用水、農業用水などの供給源としての役割や豊かな自然環境、広いオープンスペースなど、憩いと潤いを持たらすネットワークとしての役割も担っています。

当事務所では、日々の管理、治水・利水・環境上にとって必要な対策を施し、沿川地域に安全・安心な暮らし・発展を持たらすことを目指すとともに、川と共生する豊かな暮らしを地域に暮らす方々と一緒に考えていきたいと願っています。



# い〜な E-na ニューストピック

## ①行徳可動堰のリニューアル工事が平成26年5月に完了！！

行徳可動堰は平常時はゲートを閉めて、江戸川からの水道水取水の妨げとなる“海水(塩分)の遡上”を防止し、洪水時にはゲートを開けて、洪水を安全に海へ流すという重要な役割を担う可動堰です。

しかし、完成から50年以上が経過し、老朽化が進んで操作に不具合が発生していました。また、大きな地震に対して十分な強度がないことも危惧されていました。そのため、老朽化したゲートを一新し、更に地震に強い構造に改良するためのリニューアル(改築)工事を実施し、平成26年5月に完了しました。

今後は引き続き、堰の上流側に同じく老朽化し、耐震性や堰の管理上も問題がある行徳橋の架替え工事を千葉県と共同で進めていきます。



リニューアル工事前の行徳可動堰



老朽化し、撤去されたゲート

## ②市民参画によるヒヌマイトトンボの生息状況の調査について

行徳可動堰の改築検討に伴い、堰の上流左岸側の河川敷にあったヒヌマイトトンボ(絶滅危惧種)の生息地に対する影響が危惧されたため、有識者に参加いただき委員会を設け、平成12年から保全対策を進めてきました。

対策としては、元々の生息地の上流側に新たにヨシ原の造成を行い、そこに飼育舎で増殖させたヒヌマイトトンボを継続して放虫し、野生状態での定着が確認されたものです。

今後は地域の方々に参加いただき、見守っていただくため、2~3年かけて市民連携による調査体制を確立していきたいと考えています。昨年はその1年目として、平成26年7月13日(日)に千葉県立国府台高校理科研究部の皆さんの協力を得て、ヒヌマイトトンボの生息状況についての試行調査を行いました。

調査に参加していただいた高校生の皆さんは全員がヒヌマイトトンボを見ることが初めてでしたが、野生状態のトンボの発見と雌雄の見分けもしっかりできました。

これを機にこれからの地域の保全や愛着の心が広がっていくものと、大いに期待することができました。



千葉県立国府台高校理科研究部の皆さんによるヒヌマイトトンボの調査の様子(皆さん、本当に熱心に調査をしていただきました。)



### ③「首都圏外郭放水路特別見学会」を実施しました。

今年も1年で唯一“予約不要” & “週末開催”の「特別見学会」を開催  
～通常は公開していないポンプ室も1年ぶりに特別公開～

平成26年11月15日(土)、16日(日)に庄和排水機場(龍Q館)において、「首都圏外郭放水路特別見学会」を開催しました。今年は両日とも晴天に恵まれ、特別見学会を実施することができました。

午前10時の開始前から調圧水槽(地下施設)前には行列ができ、約9,000名の方が調圧水槽を見学されました。なお、総来場者数は2日間合計で約13,000名に達しました。

『地下神殿』として知られる調圧水槽の中では、小さなお子さんが楽しみながら“首都圏外郭放水路の仕組み”を学ぶことができる「忍たま乱太郎」のパネル展示や“首都圏外郭放水路の施設説明”を行い、多くの方々に首都圏外郭放水路の仕組みや効果を知っていただくことができました。

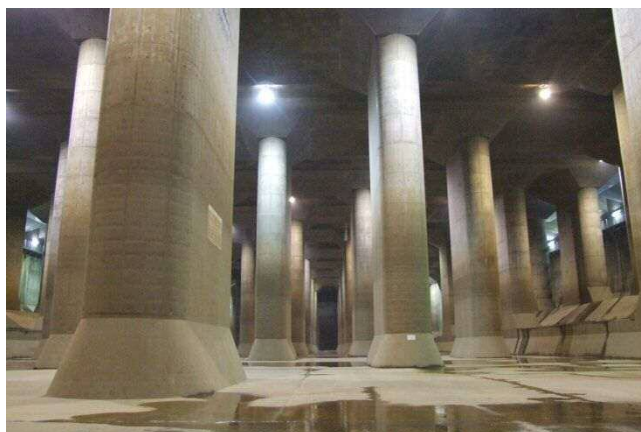
また、1年ぶりに特別公開したポンプ室では、ポンプのミニチュア模型などを使った説明を行い、2日間で約1,800名の方に見学をしていただきました。

今回も春日部市や地元市民団体による「彩龍の川まつり」、「江戸川カッパ市」が同時開催され「歌、演奏、踊りなどの催し」や「流域の物産展」、「江戸川でのEボート乗船体験」、「ゆるキャラ撮影会」など、多くの方々に楽しんでいただき、特別見学会は大盛況でした。

今年も、11月中旬頃に「特別見学会」を開催する予定です。



調圧水槽(地下施設)内の見学の様子



「地下神殿」として知られる調圧水槽



1年ぶりに特別公開したポンプ室  
(左下に見える黄色いケースの中に航空機のエンジン転用した“ガスタービン原動機”などが収納されています。)



“重機展示・試乗コーナー”では、  
小さなお子さんに本物の重機に試乗  
してもらい、“生”の迫力を体感  
してもらいました。

### ★「首都圏外郭放水路一般見学会」のご案内

首都圏外郭放水路では、平日に一般の方を対象とした見学会を実施しています。参加を希望される方は、電話またはホームページ(「江戸川河川事務所」で検索!)にてお申し込みください。【要予約】

お申込み・お問合せ先 電話:048-747-0281【月～金 9:00～16:30】(首都圏外郭放水路見学会受付)  
ホームページ: <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/>

## 江戸川河川事務所の出張所・管理支所について

江戸川河川事務所では、堤防や護岸など、川で様々な管理・対策のための工事を実施しています。

川の近くに位置し、これら工事を発注者として監督したり、川の日々の管理や災害時に異常の有無を発見・措置するための点検・巡視や河川法に基づく占用、指導、申請受付など各地域の窓口、“顔”となっている組織が事務所の出先機関に当たる“出張所”になります。江戸川河川事務所には8箇所の出張所・管理支所があり、分担して川の管理を行っています。

(※各出張所・管理支所ごとの「管理区間」と「位置」については、“出張所の管理区間”(1ページ目 下図)をご覧ください。)

なお、各出張所・管理支所では「出張所だより」を発行しており、工事情報やイベントなどの情報を発信しています。「出張所だより」は江戸川河川事務所及び各出張所(管理支所)で入手できるほか、江戸川河川事務所 H.P.([http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa\\_index011.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa_index011.html))にも掲載しています。

皆さん、ぜひそちらもご覧ください。

・江戸川上流出張所	住所: 埼玉県春日部市西金野井886	電話: 048 (746) 0063
・運河出張所	住所: 千葉県流山市西深井836	電話: 04 (7152) 0102
・江戸川河口出張所	住所: 東京都江戸川区東篠崎町250	電話: 03 (3679) 1460
・松戸出張所	住所: 千葉県松戸市主水新田102	電話: 047 (343) 3722
・中川出張所	住所: 埼玉県越谷市越ヶ谷4-2-41	電話: 048 (962) 2634
・中川下流出張所	住所: 東京都葛飾区高砂1-3-15	電話: 03 (3694) 2757
・三郷出張所	住所: 埼玉県三郷市新和2-442	電話: 048 (952) 7015
・首都圏外郭放水路管理支所	住所: 埼玉県春日部市上金崎720	電話: 048 (746) 7524

### 地デジで水位・雨量情報が確認できます TVリモコンのdボタンを押してみよう!

NHK総合の「地デジデータ放送」にて、川の水位や雨量の情報提供をしています。  
水位・雨量情報はインターネットで詳しく情報提供を行っていますが、現在はテレビで水位・雨量の概況を容易に確認することができます。

#### 河川水位・雨量情報の表示のしかた

dボタン

河川水位・  
雨量(くらし)

右の画面となりますのでリモコンの矢印ボタンでご覧になりたい観測所を選んでください。



## あとかき

久々の発行となりました「E-naだより」ですが、最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。今後も皆さんにより親しみをもって、読んでいただけるような誌面づくりを心がけていきたいと考えております。

なお、次号以降においては、川の管理に関する情報はもちろん、「河川施設や歴史紹介など、特定のテーマに絞った連載企画」や「皆さんから“川にまつわる写真”を募り、誌面に掲載するコーナー」などを掲載していきたいと考えております。

本誌の充実を図るため、ご感想などがありましたら、以下の①「宛先」へ郵便、または②「URL」からメールにてお送りください。

たくさんのご感想をお待ちしています。

①宛先 〒278-0005千葉県野田市宮崎134 国土交通省江戸川河川事務所 E-naだより編集室

②URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/utility/question.html>

※「E-naだより」は江戸川河川事務所及び各出張所・管理支所で入手できるほか、江戸川河川事務所 H.P.([http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa\\_00691.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa_00691.html))にも掲載しています。

※このQRコードから江戸川河川事務所管内の降雨状況や水位情報などが入手できます。

